風-景-観 見逃した世界・ここにある世界

アートラボはしもと 共催 アートラボはしもと事業推進協議会(相模原市・女子美術大学・桜美林大学・多摩美術大学・東京造形大学)

内

乗 来場者数:992人

 開催日:平成24年9月8日(土)~9月23日(日曜日) ① 時 間:10:00~17:00 ─ 実施場所:アートラボはしもと

出品作家:石井了/井出賢嗣/小林耕二郎/成田禎介/前野智彦/母袋俊也/吉川啓示/

女子美術大学デザイン・工芸学科 環境デザイン専攻4年有志/

容:いま、そこから何が観えますか?

多摩美術大学「放射線を測る・知る・デザインする」チーム

それは、どのように観えていますか? 当企画は、「風景」をテーマに"観る"という行為自体に着目し、私たちと世界との関わり合い

緑豊かな田園風景や高層ビルが立ち並ぶ都市の風景。家族団らんの風景や心の風景。様々な場

面に使用される「風景」という言葉はいったい何を示しているのでしょうか。

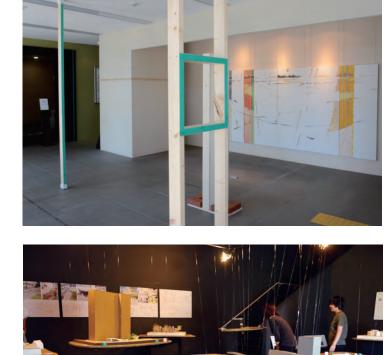
について再考を促すものです。

例えば、皆さんが風景画を描くとき、「あの山からその山まで描こう」と構図を決めることで、 描かれるものと描かれないものを選び出します。実は、私たちが普段、テレビや雑誌などで観

ている「風景」も、このようにして誰かの手によって切り取られた世界の一場面であり、その 切り取られた部分を、私たちは「風景」として認識しているのではないでしょうか。 ここでは、ベテラン作家の風景画から若手作家による「風景」を扱った現代アート作品、女子

美術大学の学生による子どもの施設の提案や、多摩美術大学の研究チームによる見えない環境 (放射線) に着目したデザインプランなどを通し、多様な「風景」の切り取り方を提示します。 それらの作品は、来場者が自身のものの見方や身のまわりの環境について、改めて考え直す機 会を与えてくれることでしょう。

主催者





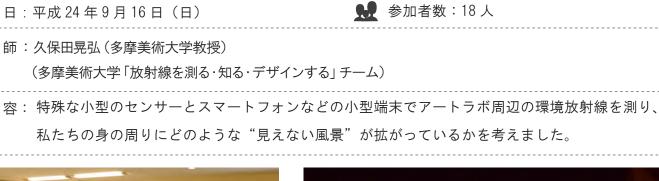








開催日: 平成24年9月16日(日) 師: 久保田晃弘(多摩美術大学教授) (多摩美術大学「放射線を測る・知る・デザインする」チーム)



協力 非営利プロジェクト「radiation-watch.org」

見えない風景を測る

美術専門員によるガイド





大人の現代風景画教室

開催日:平成24年9月23日(日)

ました。

師:渡邊聡志(多摩美術大学絵画学科副手)

容:日常風景をちょっと変わった視点の鉛筆画にします。はじめての方でも基礎から丁寧に指導し





★ 参加者数:12 人